

2026年1月9日
京都水族館

「育て！いくらちゃん2026」を開催 ～「いくらちゃんサバイバル」をテーマに学ぶサケのいのち～

京都水族館（所在地：京都市下京区、支配人：坂野 一義）は、2026年1月10日（土）～3月13日（金）の期間、サケの成長を観察できる特別展示「育て！いくらちゃん2026」を開催しますので、お知らせします。



サケの成長を見守ることができる



「育て！いくらちゃん2026」キービジュアル

本企画展は、2014年から開催している企画で、開催11回目を迎えます。今年は、「いくらちゃんサバイバル」をテーマに、京都水族館内を巡って特設パネルで学習し、サケの一生を学ぶ体験型ゲームが登場します。ここ数年、サケの来遊数・漁獲量は大幅に減少しており、今シーズンも非常に厳しい状況が続くと見込まれています。こうした問題を受け、展示を通して私たちの食生活に身近なサケを知るきっかけになってほしいと考えています。

「京の川」エリアでは、サケの卵であるイクラを展示し、稚魚になるまでの約2ヶ月間の成長をご覧いただきます。過去の企画展では、京都府・由良川を遡上（そじょう）したサケの卵を展示してきましたが、今シーズンは由良川のサケの採卵ができなかったため、「サケのふるさと 千歳水族館」からお借りしたイクラを展示します。ふ化後には、小さな体で一生懸命に泳ぐ稚魚の姿や、成長に伴う変化をじっくりと観察することができます。

さらに、館内5カ所に設置する特設パネルと特別ブックを使い、水族館を巡りながらサケの一生を学ぶことができます。展示では、京都水族館公式LINEを活用したクイズに挑戦しながら、「いくらちゃん」がふ化して川から海へと旅立ち、長い年月をかけて再び川へ戻るまでの自然の厳しさについて、ゲーム感覚で学びを深めます。また、すしや焼き魚など、私たちの食生活に身近なサケ料理の食品サンプルや、迫力ある成魚の剥製を展示します。

2月22日（日）にはサケの来遊数が減少している現状に迫る特別ワークショップ「サケは帰ってこなかった・・・？」を開催します。講師である由良川サケ環境保全実行委員会会長 佐々木 幹夫氏が、サケの一生と自然環境のつながりをテーマに、京都府の由良川におけるサケの遡上数減少についてお話しします。

この冬は、京都水族館の体験型展示を通して、サケの生態や特徴、その生涯を学びましょう。

以上

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞

京都水族館 企画広報チーム 杉山・吉永

TEL: 075-354-3116 MAIL: press-kyoto@orix-aqua.co.jp

1. 「育て！いくらちゃん 2026」概要

①イクラの成長過程を展示

今年は「サケのふるさと 千歳水族館」からイクラをお借りして展示を行います。イクラがふ化するようすや、ふ化後に腹部の栄養袋「さいのう」を持つ仔魚の成長過程をご覧いただけます。

水槽の隣には、飼育スタッフが手書きで記録する「成長ボード」を設置します。

展示期間：2026年1月10日（土）～3月13日（金）

場 所：1階「京の川」エリア

※ いきものの状況などにより、展示内容を変更または中止する場合があります。



イクラの成長するようすを観察できる

■由良川のいくらちゃんが取れなかつた理由

企画展「育て！いくらちゃん」では、初開催の2014年から2024年まで、イクラのふ化からサケの稚魚へと成長する過程を展示してきました。展示のイクラは、京都の由良川へ遡上したサケの卵を育て稚魚を放流する活動を主催する「由良川サケ環境保全実行委員会」からお預かりしたものです。館内で飼育した後、3月に飼育スタッフが稚魚を由良川へ放流していました。

しかし、近年は気候変動などの影響で由良川へ遡上するサケの数が大幅に減少し、2025年度シーズンは採卵することができず、イクラを展示することができませんでした。

そこで今年は、サケを中心とした環境教育に取り組まれている「サケのふるさと 千歳水族館」にご協力いただき、千歳川へ遡上したサケのイクラを展示します。お預かりしたイクラは稚魚になるまで飼育し、3月中旬頃に千歳へお返しして千歳川で放流されます。



成長した稚魚を由良川に放流しているようす
(2024年3月)

《サケのふるさと 千歳水族館》

北海道・千歳川に面した、サケを中心とした水族館。川の中を間近に観察できる「水中観察窓」を設けた日本初の水族館でもあります。秋には、産卵のため遡上するサケの群れを観察できるほか、世界各地の多様な淡水生物についても楽しく学ぶことができます。

②「いくらちゃんサバイバル」サケの一生を体験型ゲームで学ぼう

館内5カ所に設置された特設パネルと特別ブックを見ながらサケの一生を学びます。京都水族館公式LINEを活用し、クイズの答えを選びながら館内を巡ります。川や海を巡るサケのように、お客様自身が京都水族館を巡ることで、サケになりきった気分でサケの生活史を学びます。マルチエンディング式のクイズになっているので、無事に「いくらちゃん」がふるさとの川まで帰ることができるので挑戦しましょう。



パネルイメージ（一部抜粋）

展示期間：2026年1月10日（土）～3月13日（金）

場 所：館内各所

③食品サンプルとサケの成魚の剥製を展示

2階「ミテッテ」エリアでは、昨年好評だったサケ料理の食品サンプルが登場します。展示では、どのサケ科魚類が、どのような料理に使用されているのかをご紹介します。

あわせて、立派に成長した成魚の剥製をご覧いただけます。「いくらちゃん」が無事に成長すれば、やがて迫力ある成魚の姿になります。ぜひ大きくなったサケの姿にご注目ください。

展示期間：2026年1月10日（土）～3月13日（金）

場所：2階「ミテッテ」エリア



サケの成魚の剥製

④ワークショップ「サケは帰ってこなかった・・・？」

由良川サケ環境保全実行委員会会長の佐々木 幹夫氏を迎えて、サケの生態をはじめ、由良川への遡上数が減少しているサケの現状を紹介します。サケが故郷の川に帰ってこられるようにするにはどうすればいいのかを考えるきっかけを提供します。

開催日時：2026年2月22日（日）午後2時～3時（予定）

料金：無料 ※別途京都水族館の年間パスポートが必要。

開催場所：2階「ミテッテ」ワークショップスペース

参加条件：年間パスポートをお持ちの小学生以上の方

定員：20名

参加方法：当館公式ウェブサイト「イベント・体験」ページ

<https://www.kyoto-aquarium.com/event/index.html> から事前申し込み

募集期間：2026年1月10日（土）～2月8日（日）

※応募多数の場合は抽選になります。当選された方には2026年2月9日（月）にメールでご連絡します。



特別ワークショップ（イメージ）

由良川サケ環境保全実行委員会会長 佐々木 幹夫（ささき みきお）

1949年京都府綾部市生まれ。子ども時代は山野を駆け回るわんぱくな少年。1979年に京都府のサケ資源増殖事業の放流に参加。2007年に京都府の事業として終了した後も由良川サケ環境保全実行委員会として事業を継続し、その会長を務める。ふるさとを忘れずに帰ってくるサケのように、人々にもふるさとを愛する心を育ててほしい想いと、サケが帰る美しい由良川を守ろうと訴えて、自身の手でサケの稚魚を飼育して放流する市民参加の事業を続けている。



佐々木 幹夫氏

2. 期間限定飲食メニュー概要

■サーモンフライドッグ

ボリューム満点のサーモンフライを挟んだホットドッグが登場。カラフトマスを使ったサクサクのフライは、タルタルソースの中に刻んだ柴漬けが入ったソースをトッピングしています。サクッと食べやすいのに、おなかいっぱい満たされる限定飲食メニューをぜひお楽しみください。

販売開始：2026年1月10日（土）

販売場所：ハーベストカフェ

販売価格：650円（税込み）

※なくなり次第終了。

※販売場所、販売時間など、予告なく内容を変更させていただく場合があります。



サーモンフライドッグ

【施設概要】

| | | | | | | | | | |
|--|--|----------------------|--------|--------|----------------|--|--|--|--|
| 施設名称 | 京都水族館 | | | | | | | | |
| 英名 | KYOTO AQUARIUM | | | | | | | | |
| 運営会社 | オリックス不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：北村 達也） | | | | | | | | |
| 運営業務受託会社 | オリックス水族館株式会社（本店：東京都港区、社長：田中 充） | | | | | | | | |
| 支配人 | 坂野 一義（さかの かずよし） | | | | | | | | |
| 開業日 | 2012年3月14日（水） | | | | | | | | |
| 場所 | 京都市下京区観喜寺町35-1（梅小路公園内） | | | | | | | | |
| 営業時間 | 午前10時00分～午後6時00分 ※一部の土・日・祝日・特定日は午後8時00分まで ※入場受付は閉館の1時間前まで ※日による変更あり。詳細は、 営業カレンダー をご覧ください。 ※気象状況および貸切営業等により営業時間を変更する場合あり。 ※入館には人数制限を設けており、混雑状況により整理券を配布させていただく場合がございます。 | | | | | | | | |
| 休館日 | なし（年中無休）※水族館のメンテナンスや気象状況による臨時休業あり | | | | | | | | |
| 公式ウェブサイト | https://www.kyoto-aquarium.com | | | | | | | | |
| 料金（税込み） ※2026年2月10日（火）以降、入場料金および年間パスポート料金が改定になります。 参照： 入場料金改定のお知らせ | 【個人のお客さま】 | | | | | | | | |
| | | 大人 | 高校生 | 中・小学生 | 幼児 (3歳以上) | | | | |
| | 一般料金 | 2,400円 | 1,800円 | 1,200円 | 800円 | | | | |
| | ※中学生、高校生の方は、チケット売り場で生徒手帳の提示が必要。 | | | | | | | | |
| | ※障がい者手帳をご提示の方とご同伴の方（1名）は、一般料金の半額。 | | | | | | | | |
| | 年間パスポート | 5,300円 | 4,000円 | 2,700円 | 1,800円 | | | | |
| | ※中学生、高校生の方は、チケット売り場で生徒手帳の提示が必要。 | | | | | | | | |
| | ※障がい者手帳をご提示の方は、年会費が半額。 | | | | | | | | |
| | 【団体のお客さま】 | | | | | | | | |
| | 一般団体 (20名以上) | 大人 (大学生含む) | 高校生 | 中・小学生 | 幼児 (3歳以上) | | | | |
| | | 2,160円 | 1,620円 | 1,080円 | 720円 | | | | |
| | 学校団体 ※引率の教員の方は無料 (一部上限あり) | 大人（大学生・保護者含む） | 高校生 | 中・小学生 | 幼児 (0歳から有料) | | | | |
| | | 1,800円 | 1,350円 | 900円 | 600円 | | | | |
| | | ※学校の行事としてのご入場に際しての適用 | | | | | | | |
| | <徒歩の方> | | | | | | | | |
| | ・「京都」駅中央口より西へ徒歩約15分 ・JR山陰本線「梅小路京都西」駅より東へ徒歩約7分 | | | | | | | | |
| | <バスをご利用の方> | | | | | | | | |
| | ・「京都」駅より、京都市バスで約8分「七条大宮・京都水族館前」下車、京阪京都交通で約5分「七条大宮・京都水族館前」下車、または西日本JRバスで約5分「七条大宮・京都水族館前」下車、土日祝は「東寺・梅小路エクスプレス」が運行 ・阪急「大宮」駅より、京都市バスで約8分「七条大宮・京都水族館前」 ・阪急「桂」駅より、京阪京都交通で約16分「七条大宮・京都水族館前」 ・京阪「七条」駅より、京都市バスで約14分「七条大宮・京都水族館前」 ・地下鉄・JR「二条」駅より、京都市バスで約13分「七条大宮・京都水族館前」 | | | | | | | | |
| アクセス | | | | | | | | | |
| 備考 | ・全館禁煙 ・給湯シンクを備えた授乳室（計3カ所） ・おむつ替えコーナー（計8台） ・盲導犬などの介助犬の同伴可能 | | | | | | | | |